

東北日報

本報は毎月三回発行され、毎号一頁の増刊あり。印刷所は仙台市大町一丁目。電話六三三。

植田町明年度豫算

三割八分の激減

町税一戸平均五圓減

原案無修正で町會可決

石城郡植田町五年度豫算案が町會で三割八分の一圓修繕費六百圓は提出原案歳入出三萬八千五百圓減による小學校費は千七百二十七圓を全く無修一万三千五百十六圓で、一學正で可決したがこれを前年級教員一名減のため前年比に比較すると實に二萬五千五百圓減額と見られる。六十圓即ち三割八分の激減一千三百一十一圓減額業費五であるこれをさい入出に十八圓で二百六十五圓減等いて見るとさい入補助四で同臨時部では補助一千三百三十三圓と七千四百九十百五十七圓で三百八十五圓九圓三十六圓減額越金三千増土木費は零で一万四千九圓で千四百圓増税二万四千二百二十五圓減である尙特別千八百七十九圓で六千九百九百九十九圓減額業費九十五圓であるさい出では圓で前年に比し實に四千六萬五千圓減額と見られる。十圓二割五分を減じたこれ經常部役場費七千三百九十圓の十八圓十三圓より四圓五圓で一千八十圓減これは七十四圓の負擔減になつた

平商業學校の卒業生七十五名

内優等生五名

二ヶ年間精勤者十六名

平町立商業學校では来る十日午前九時より同校講堂に於て卒業式を挙行する。が本年度卒業生は七十五名で優等生五名精勤者十六名であるが氏名左の如くである。

- 石崎茂、猪狩武、石川茂
- 磯貝四郎、長谷川正夫、原恒、新妻信清、新
- 妻清、本間七五三、大の
- 増進せしめ一ヶ月の出炭量百匹を配付してきた

小野田長倉の二礦 老坑夫三百名を減首

能率増進の一策として 代りに壯年者二百名募集

石城郡内郷村磐城炭礦から現在六千トンを一萬トンの朝鮮磐城炭礦の經營者である向兩炭礦の從業者數は戸部光衛氏の經營になつてある尙兩炭礦の從業者數は小野田長倉の兩炭礦ではは小野田八百五十名、長倉の如く既に六十四名の二百六十名合計一千百餘名を減首し續いて尙二百名を減首する等である。老齡労働者約三百名をかく首する一面に於ては壯年労働者約二百名の募集を計劃として經濟上適切なものとする。老齡労働者を解雇し壯年者今回のうち林省から交付を受けた子蛙を石城郡の會に増進せしめ一ヶ月の出炭量百匹を配付してきた

食蛙を配付

農漁村の副業に勤める者には食用蛙を配付する。老齡労働者約二百名の募集を計劃として經濟上適切なものとする。老齡労働者を解雇し壯年者今回のうち林省から交付を受けた子蛙を石城郡の會に増進せしめ一ヶ月の出炭量百匹を配付してきた

中學の學資は十八羽のにはこり

涙ぐましい勤勞生活 錦村の奮闘少年物語り

石城郡錦村小學校校長荒井一二氏はこの村窮狀の打開策として數年來副業の奨励に努めつつあるが昨年春以來かねて研究中だつた最も簡易にしてかつ利潤多きのう家に適應せしめる養雞をなし目下十八羽の牝雞から得る産卵で令息澄五君を錦城中學校に通學せしめてゐる外には幾分の利益をあげてゐるこの實驗だんに就き記者に語つた養雞の有利なる事。

投書

平町會議員諸公

頭は狂つておりませんか

河童生

立候補當時の挨拶が如く慰金を贈るに、高いとか、平町の爲めに眞に盡す町會議員であるならば、假りに同んとかと難クセをつけて結局病坑夫の退職手當にもつた。平町會議員諸公は少くも自分の日當位はノシを少狂つてゐるのではないかと考へた、なぜなら……一部に拘らず彼等は……一部の議員から、何んだ、かんだと悪口を、たたかされてもイヤな顔を一つするでなしに、お有難く頂戴する事コソ……と事務に精を満場一致で決めてしまつた。その態度の立派さ思ふと止めどもなく俺は涙加減にホト……驚いてしまつて來る事を比較するかの。香野氏はとんでもない町長になられた……南無阿彌陀佛

久保町の出初式

今日初馬の吉例で

平町久保町十四區火防組合は初馬の吉例によりて本日午前九時より同町道路に於て五分隊に別れ出初式を開催されたが受賞隊は左の如くである。

- 第一等タイム 一分八秒
- 第二等タイム 一分二秒
- 第三等タイム 一分二秒
- 第四等タイム 一分二秒
- 第五等タイム 一分二秒
- 第六等タイム 一分二秒
- 第七等タイム 一分二秒
- 第八等タイム 一分二秒
- 第九等タイム 一分二秒
- 第十等タイム 一分二秒

勿來炭礦の泥捕る

十數回の犯行

石城郡勿來町勿來炭礦雇水野留吉(五〇)は昭和三年十一月同炭礦に雇はれて後昨年一月から十數回に亘り同炭礦を以て中心として白米その他の小窃盜並に横領詐欺を約百圓分働いたこと發覺植田署に檢舉され關係者の同町大竹某(三二)と共に同署の取調べを受けて居たが留吉は前記の罪名で七日平檢畢に送致された。

断判

大安西方凶 二つのと末 舊二月十一日

- 一人 座だんに時を逸する事なり苦説に注意あり
- 二人 近親者に心配日旅行は他人の爲なれば吉
- 三人 旅行時居移動吉
- 四人 自己は安らかなれども家族に心配あり
- 五人 旅行時金だん吉
- 六人 旅行時金だん吉
- 七人 旅行時金だん吉
- 八人 旅行時金だん吉
- 九人 旅行時金だん吉
- 十人 旅行時金だん吉

日曜文苑

▲歌壇 磯田 沙路

○子が乗ればつぶる、豆の葉の馬に
母も乗れよと子はすねるなり
○筑波嶺のかさ笠去らず霖雨の
向續くらん風冷えびえし
○母のみの母持たぬ子に情けして
君はまことに死を語るかな
○美しき姿も今は色あせす
ペコニアのごと寂しかりけり
○たをやめは移り氣なりと云はは云へ
吾はまことの戀ぞするかな

大竹 秋平

○久々に家に歸りて悲しみぬ
面やつれにし母の姿に
○枕邊に置かれし友の文讀みて
寢覺めの床のあわく悲しも
○故郷に歸りきぬれば道すから
姉とゆき逢ひ嬉しかりけり
○久々に昔の友と語り相ひ
おさなき時を思ひ浮べり

▲山 家 草 野 口 朝

○夕もやのうすくつゝめるボプラ木に
渡り鳥啼く山上の家
○窓近く夕陽は流れ静もりて
はせの並木のしろく光れり
○葉たけば白き煙の漂ひて
この朝あけの静かなるかも
○安らかにもの皆忘れはてにけれ
身は秋風の底に埋れて

▲詩叢

留 守 春野晴風

夜は淋しい
夜は淋しい
寝て居るては一層淋しい
留守の夜
直ぐ歸へると云つて行つ
た母は
まだ歸らない
深々と更け行く時
聞ゆるものは弟

遠の寢息と
それから
かすかながら
風に吹かれる木の葉の音
それから
時を刻む時計の
音ばかりだ
まだ歸らないかなあー
臺所でコトリと音がした
鼠だろ
時計は十二時を打つた

生徒募集

募集人員 百人
一本科 普通科 第壹學年 百五十人
普通科 第二學年 若干名
二、願書提出期限四月六日限り
三、入學資格高等小學卒業以上
右生徒募集ス

磐城佑賢學舎

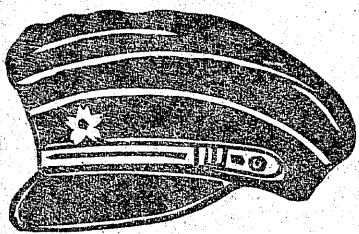
増築落成 病室完備
入院隨意

上田外科醫院

平南町 電話 一二九番

新學期の

學帽



御求メノ節ハ最新型責任付製造
販賣ノ當店ヲ御利用下サイ

健康堂製帽所

喫茶の店

パーラークララ

洋菓菓子パン
平 藤 遠
前 藤 店
電話七六番

入學ご！ 卒業は！！

人生第一歩の花!!!

この絶好無二の記念ヲ
是非寫眞に

大野寫眞館

平町仲田町

生徒募集

本科一學年 五十名
裁縫專修科一年 百名
專攻科 五十名
師範科 三十名
願書受附三月三十日限り

藤田女學校

平町 電話三二八

復活 生徒募集

第壹學年 百五十名
第二學年 若干名
規則書申込次第進呈

私立磐城青年學校

金解禁後の

驚クベキ破格ノ値下ゲ斷行
特ニ此場合洋服調製ヲ
オ勸メ致シマス

大崎洋服店

平町田町
電話七一一三

開業廣告

今般左記ノ通り開業致シ候間歩段及
謹告候敬具
昭和五年三月一日

内科一般

住宅 時間午前七時より午後十時迄
但シ急患はこの限りにあらず
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

川井内科診療所

電話七三三番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

先づなめて見て舌つゝみミルク飲
良薬も口に甘きは淺田館

お化粧は婦人のたしなみコンバクト
野に山に觀劇に旅にコンバクト

ホマードをつけたで今日はモホにされ
朝まだき夜晩くまで奉仕第一尚美堂

尚美堂藥店

藥と化粧品
染料塗料
塗料中コールドールは容器と塗
ハケをお貸し致します
電話二六八番
平町田町通り

サロンのバーには

何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理を御献立を
して御座います
ドーゾ御試食を

田町松月隣り

サロンの

美味でさむちよい
男女給仕人數名募集
電話三五二番